



「地域と共にある学校」

～料理教室や側溝清掃を実施しました～

11月6日に本校家庭部の1・2年生22名と地区社会福祉協議会、生協、百歳体操参加者等25名、計47名の参加者を得て、「つながりキッチン～十種の栄養ふりかけを作ろう～」と題した料理教室が開催されました。生徒と参加者が楽しく交流しながらふりかけを作り、一緒にいただきました。

また、翌7日には校舎東側の側溝清掃を行いました。生徒会役員、保健委員会、ボランティア部、硬式野球部、サッカー部、女子バレーボール部の約150名の生徒が参加して、土砂や落ち葉で埋まった側溝を綺麗にしました。当日は、あかねヶ丘一丁目町内会の富士原町内会長様からも激励をいただきました。山商は「地域と共にある」学校として、これからも地域の皆様と共に歩む学校づくりを推進してまいります。



日本一の金字塔がまた一つ… 明るい選挙啓発ポスター全国最高賞受賞

明るい選挙啓発ポスターコンクールにおいて、本校美術部員山川芽依（1年）さんの作品が国内最高賞の文部科学大臣・総務大臣賞に輝きました。全国から14万点を超える応募があった本コンクールにおいて、最高賞を受賞したのは本県では5年ぶりの快挙だということです。「青春選挙」の文字を入れて、選挙を身近に感じてほしいという思いが込められています。18歳人口の投票率が日本一の本県。この啓発ポスターによって、本県の投票率がますます高まることを期待したいと思います。また、「日本一の商業高校」を目指す本校。今回の受賞によって、本校の「日本一の金字塔」がまた一つ増えたことになりました。

作品は、18歳選挙権をテーマに、「18」の数字の前で男子生徒と女子生徒が笑顔でポーズを取り、背景に投票箱をはじめ、ノートや鉛筆、スマホ等の高校生の身の回りにある物を並べたものである。



女子バレーボール部 春高バレー全国大会に出場

本校女子バレーボール部が、本県代表としてバレーボール全日本高校選手権大会（春高バレー）に出場しました。1月6日（月）に東京都調布市の武蔵野の森総合スポーツプラザで初戦を迎え、大阪府代表の大阪国際滝井高校と対戦しました。試合は強豪相手に懸命に戦いましたが、最後まで波に乗れず、セットカウント0-2で敗れました。当日は、大勢の保護者応援団並びに男子バレーボール部員及び3年生有志を中心とした生徒応援団に加え、東京輸誠同窓会の多数の先輩方からも応援に駆けつけていただきました。また、学校ではインターネット中継を観戦しながら在校生が応援しました。

この大会の丁度1ヶ月前に、本校女子バレーボール部に対して、JA山形市、JAやまがた、JA共済連のJA3団体から激励品として、県産ブランド米「つや姫」60kgと山形牛10kgが贈呈されました。また、大会後の1月15日には、公益財団法人エンドー学事振興会から助成金が贈呈されました。今年度のインターハイで全国ベスト8に入賞するとともに、春高バレーにも本県代表として全国大会に出場した成績を評価され、今後ますますの活躍を期待していただいていたの贈呈でした。

各方面から多数の激励とご支援、そして応援をいただき、誠にありがとうございました。



3Dプリンタの寄贈を受けました

12月20日に、「やまがたメイカーズネットワーク」（略称：「YMN」）から3Dプリンタの寄贈を受けました。教育界・産業界・行政等機関の有志が連携して、ものづくりを通じ、やまがたの次代を担う人財育成を支援する目的で平成26年に設立されたYMNは、すでに100校を超える小中学校等に3Dプリンタを寄贈されています。このたび、YMNの代表である大津清氏を通じて、本校に3Dプリンタが寄贈されることになりました。

当日は本校校長室にて、「3Dプリンタ贈呈式」が行われました。今回寄贈される3Dプリンタを「課題研究」の時間に製作してくれた県立寒河江工業高校の3名の生徒と指導教官が来校され、式に参加していただきました。寒河江工業の3名の生徒から製作上の苦労話を聞いた本校の生徒達は、この3Dプリンタを手作りした3名の生徒に対して、純粋なリスペクトの念を抱いていたようです。贈呈式の後、早速、実演が行われ、カメラの模型が見事に完成しました。今後、本校では学校行事や授業等で大いに活用していきたいと考えています。YMN及び寒河江工業高校の皆さん、本当にありがとうございました！